

平成28年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 低炭素 施策番号 5-4 局・課名： 環境局 環境エネルギー課

事業名	次世代自動車普及促進事業	事業費(千円)	平成26年度決算額	平成27年度予算額	平成28年度要求額
			9,198	10,083	9,739
事業概要	【目的】 自動車利用におけるCO2排出量を削減するため、電気自動車等の次世代自動車の普及促進を図る。 【内容】 ①【FCV普及促進事業】 公用車として燃料電池自動車(FCV)を導入し、通常業務をはじめ、イベントでの展示等、FCVに関する情報提供に活用する。 ②【次世代自動車普及促進啓発】 電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド自動車(PHV)、FCVの普及に向け、区民まつり等のイベントでの展示、試乗会など啓発活動を実施する。 ③【ビークル・トゥ・ホームシステム(V2H)活用事業】 電気自動車に搭載している蓄電池から住宅等へ給電する仕組み「ビークル・トゥ・ホームシステム(V2H)」の普及をめざし、昨年度よりスマートハウス化支援事業において、V2Hへの補助を行っている。現在申請中の電気自動車活用事例創発事業が採択され、日産自動車(株)の電気自動車(e-NV200)を導入する場合、市有施設にV2Hを設置し、ピークカットや停電時の活用を検討する。 【今年度要求のポイント】 自動車利用におけるCO2排出量の削減のため、次世代自動車の普及を積極的・総合的に推進する。 ①FCVの利用機会を増やし、普及拡大を図る。 ②普及活動を実施し、次世代自動車を市民に身近な存在とする。 ③V2Hを導入し電気自動車を蓄電池として活用する。	債務負担行為	期間		要求額(千円)
			H ~ H		
			主な要求内容		
			(単位:千円)		
			項目	27年度予算	28年度要求額
			公用車EVカーシェアリング	9,167	0
			FCV普及促進事業	0	8,048
			次世代自動車普及促進事業	801	146
			ビークル・トゥ・ホームシステム(V2H)活用事業	0	1,428
			その他	115	117
			合計	10,083	9,739
			スケジュール(経過及び今後展開)		
			【経過(～27年度)】	【28年度】	【今後予定(29年度～)】
			①FCV活用方法検討	①FCVを公用車へ導入するとともに、市民への情報提供へ活用	①FCVを公用車へ導入するとともに、市民への情報提供へ活用
			②事業者等と連携して普及啓発等を実施	②事業者等と連携して普及啓発等を実施	②事業者等と連携して普及啓発等を実施
			③V2H導入を検討	③V2H活用・周知方法を検討	③V2H活用・周知方法を検討
			その他 特記事項		
			みんなの審査会対象外		

整理番号： 10 - 3 - 0130